



学校だより

児童数：625名（男：338名 女：287名）

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



礼を正し 場を清め 時を守る



校長 戸野塚 晃

緑が色鮮やかな季節となりました。泰平山のフジの花も校庭脇のツツジも待ち焦がれていた春の陽ざしをいっぱい浴びながら、今が旬と咲き始めています。ところで泰平小に咲いている花の中で昨年かから気になっていた花がありました。正門から入って左側にあるマーガレットにも似た群生して咲いている白い花です。夕方や曇りの日には花が閉じていて、陽を浴びて暖くなると花が開きます。いろいろと調べたところ、学校には珍しい花で原産は熱帯アフリカ、キク科の「オステオスペルマム」というそうです。いつ、どなたが植えられたのか不明ではありますが、答えを見つけた少しの優越感と季節を感じさせてくれるバロメーターが私の中で一つ増えました。緑豊かな潤いのある泰平小学校が大好きです。

さて、先日小中一貫教育代表者会議ということで、すぐ隣の泰平中学校に行ってみました。もちろん、初めて伺ったわけではないのですが、行く度にいつも私の心をひきつけるものがあります。それは、正門に掲げられている「礼を正し 場を清め 時を守る」という泰平中学校の校訓にもなっている言葉です。元々は、教育学者である森信三氏が職場再建の三原則として提唱した言葉だそうです。民間の職業現場だけでなく教育現場においても大切にしたい言葉でありその精神は多くの場面で活かせると考えられます。泰平っ子用に言い換えるならば、以下のような表現で進められます。

- 礼を正し→あいさつをする。返事をする。
- 場を清め→掃除をがんばる。身の回りの整理整頓。
- 時を守る→授業に遅れない。移動教室でも時間を守る。休み時間もしっかり守る。

ところが、上記の三つの言葉は言い換えた以外にも隠れた本来の意味があります。「礼を正す」→あいさつをする。ということは先月号でもお伝えした通り、相手の心に近づくということなのです。子どもたちは、たくさんの人たちに支えられ成長していきます。関わる全ての人たちに感謝の気持ちを持ち、礼をつくすということを伝えていかななくてはなりません。良いコミュニケーションと円滑な人間関係は良いあいさつから始まることをぜひ伝え続けていきたいです。「場を清め」→掃除、整理整頓。きれいにすることは、環境を整えることでもあります。自主的にゴミが拾えるか。そもそもゴミを減らすことを考えられるか。学習環境を整えることは、自分の成長に大きく影響を与えることとなります。それに気づかせ、その意欲を育てなくてはなりません。「時を守る」→授業、移動教室、休み時間も守る。時間を守ることは、自分に対してだけでなく、相手に対しても時間を守ることとなります。提出物の期限や時間を守ることは、相手からの信用と信頼を得ることです。自分の行動についての責任を果たすことにつながるのです。

学校でも多くの場面で機会を見つけ指導していきます。ぜひ、ご家庭でもお子様への大切な人生へのしつけとしてお声掛けをお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

29日（土）より、いよいよ大型連休が始まります。5月1日は「さいたま市民の日」として2021年さいたま市誕生20周年を契機に制定されたものです。さいたま市立の施設が無料で入場できたり、行事やイベントが実施されたりと楽しみ方もいろいろです。身近な観光スポットの発見があるかもしれません・・・。ご家族で計画してみてくださいいかがですか・・・。

